

令和 7 年度

# 第 2 回あわら市中学生議会会議録

令和 7 年 10 月 22 日

あわら市議会

## 第2回あわら市中学生議会 会議録目次

次第	2
中学生議員	3
補佐役議員	3
答弁のため出席した者	4
事務局職員出席者	4
開会	5
議長あいさつ	5
子ども議会開会	5
質問・答弁	
藤 永 紹 義 君	6
吉 川 翔 君	8
渡 邁 瑛 紀 君	10
山 川 美 央 君	13
牧 田 樹 季 君	15
三 上 寧 々 君	17
石 川 弥 麻 斗 君	19
増 田 埼 々 君	21
中 嶋 晴 絆 君	23
坪 田 治 己 君	25
橋 本 昊 侑 君	27
小 西 遼 真 君	30
志 田 侑 愛 君	32
藤 井 美 玖 君	34
龍 田 月 奈 君	36
奥 山 咲 耶 君	37
子ども議会閉会	38
市長講評	39
閉会	40

第2回あわら市中学生議会 次第

令和7年10月22日(水)  
午後1時30分 開会

1. 開会
  2. あいさつ あわら市議会議長 室谷 陽一郎
- 

(中学生議会)

3. 開会
4. 質問・答弁 中学生議員 8名

(暫時休憩) 10分程度

質問・答弁 中学生議員 8名

5. 閉会
- 

6. 講評 あわら市長 森 之嗣

7. 閉会

8. 記念撮影

9. 議場見学

---

## 中学生議長

議長 まつぎ 松儀 こうが 晃雅 金津中学校 3 年

## 中学生議員（16名）

1 番	藤永	きら 綺羅	金津中学校 3 年	2 番	吉川	翔	芦原中学校 3 年
3 番	渡邊	あきのり 瑛紀	金津中学校 3 年	4 番	山川	みお 美央	芦原中学校 3 年
5 番	牧田	いつき 樹季	金津中学校 3 年	6 番	三上	ね々 寧々	芦原中学校 3 年
7 番	石川	やまと 弥麻斗	金津中学校 3 年	8 番	増田	のの 埜々	芦原中学校 3 年
9 番	中嶋	はるき 晴絆	金津中学校 3 年	10 番	坪田	はるき 治己	芦原中学校 3 年
11 番	橋本	こうすけ 昊侑	金津中学校 3 年	12 番	小西	はるま 遼真	芦原中学校 3 年
13 番	志田	ゆうま 侑愛	金津中学校 3 年	14 番	藤井	みく 美玖	芦原中学校 3 年
15 番	龍田	るな 月奈	金津中学校 3 年	16 番	おくやま 奥山	さくや 咲耶	芦原中学校 3 年

---

## 補佐役議員（16名）

議長	室谷	よういちろう 陽一郎	1 番	中嶋	みづき 瑞希	
2 番	関山	こうじん 耕人	※欠席	3 番	なかがいち 中垣内	えりか えり香
4 番	野沢	ゆき 裕希		5 番	いえかみ 家上	まさゆき 雅之
6 番	南	りょういち 良一		7 番	みさわ 見澤	ゆうぞう 勇三
8 番	三上	ひろあき 寛了		9 番	あおやぎ 青柳	あつし 篤始
10 番	島田	としや 俊哉		11 番	きたうら 北浦	ひろのり 博憲
12 番	堀田	あけみ		14 番	ささはら 笠原	のぶゆき 信幸
15 番	北島	のぼる 登		16 番	うめ 卯目	ひろみ

---

答弁のため出席した者（15名）

市長	もり 森 之嗣 もり めい のつぐ	副市長	まえがわ 前川 嘉宏 まえがわ まへがわ よしひろ
教育長	かい 甲斐 和浩 かい かい かずひろ	総務部長	おかだ 岡田 晃昌 おかだ おかだ あきよし
創造戦略部長	わたなべ 渡邊 清宏 わたなべ わたなべ きよひろ	市民生活部長	えがわ 江川 嘉康 えがわ えがわ よしやす
健康福祉部長	なかみち 中道 佐和子 なかみち なかみち さわ こ	経済産業部長	なかじま 中嶋 英一 なかじま なかじま えいいち
土木部長	おおみ 大味 雅彦 おおみ おおみ まさひこ	土木部理事	まつい 松井 義弘 まつい まつい よしひろ
教育部長	やました 山下 綱章 やました やました つなあき	会計管理者	はやみ 早見 孝枝 はやみ はやみ たかえ
監査委員事務局長	つねひろ 常廣 由美 つねひろ つねひろ ゆみ	芦原温泉上水道財産区管理者	たかはし 高橋 啓一 たかはし たかはし けいいち

---

事務局職員出席者（3名）

事務局長	ひがし 東 俊行 ひがし ひがし としゆき	事務局長補佐	よしだ 吉田 さゆり よしだ よしだ さゆり
主査	かがわ 鍛川 昂志 かがわ かがわ たかし		

---

◎開会

○事務局長（東 俊行君） ただ今から、第2回あわら市中学生議会を開会いたします。

開会に先立ちまして、室谷あわら市議會議長がご挨拶申し上げます。

（午後1時30分）

---

◎議長あいさつ

○議長（室谷 陽一郎君） 皆さん、こんにちは。

あわら市議會議長の室谷でございます。議会を代表して一言御挨拶申し上げます。第2回あわら市中学生議会に、本日芦原・金津両中学生のみなさんにはご参加いただき誠にありがとうございます。また、中学生議会の開催にご協力いただきました先生方に感謝申し上げたいと思います。本日ご答弁いただく市長をはじめ、理事者の皆様には中学生議会の趣旨に賛同していただき、ご協力いただきましたこと厚くお礼申し上げます。

今回の試みは、中学生の皆さんに議会や市政に、理解と関心を持ってもらうとともに、中学生の視点で、あわら市に対する意見や要望を発言していただき、それを市政に反映できたら夢があるのではないかという考えのもと開催させていただきます。

また、市政について審議する場である、この議場の雰囲気を体験、体感していただく良い機会かとも思っております。

本日は、中学生の皆さんにとって有意義で充実したものとなりますよう、心から願い、挨拶とさせていただきます。

---

◎中学生議会開会

○中学生議長（松儀晃雅君） ただいまから中学生議会を開会いたします。

本日、議長を務めます、金津中学校3年、松儀晃雅です。よろしくお願ひします。

---

◎質問・答弁

○中学生議長（松儀晃雅君） これより、あわら市の将来やまちづくりについて、私たち中学生の視点から、あわら市政に対する一般質問を行います。

---

◇藤永綺羅君

○中学生議長（松儀晃雅君） 通告に従い、1番、藤永綺羅君の質問を許可します。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○中学生議長（松儀晃雅君） 1番、藤永綺羅君。

○1番（藤永綺羅君） 金津中学校3年藤永綺羅です。

あわら市の農業について質問いたします。

あわら市市勢要覧によると、年々農家の数が減少していることがわかりました。特に総農家数が平成22年は約1200件だったのに対して、令和2年には約700件と4割以上減少しました。

そこで私は農家を増やすため、学校行事などで若者が農業について学ぶ機会を設けることを提案します。例えば、実際に農業を体験すると農業の楽しさや大切さがわかると思います。そうすることで、学生が農業の魅力を理解し、興味をもってもらうことができます。そして将来、農業に関わる仕事がしたいという人が増えると思います。

市のご意見をお聞かせください。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○中学生議長（松儀晃雅君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） 皆さん、こんにちは。あわら市長の森でございます。

通常の議会開催の時も大変緊張いたしますけども、今日は一段と緊張しております。朝からトイレに行く回数が非常に増えておりました。しっかりお答えをしたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

農業に対する貴重なご意見をありがとうございます。農業従事者の数はあわら市だけでなく、全国において減少していることは日本の農業の大きな問題であると認識しております。原因の一つに、頻発する災害などで収入が不安定になる場合がある、重労働、そして休暇の取りにくさなど若い人が農業に魅力を感じにくくなっていることがその要因であると考えております。議員のおっしゃるとおり、学校での教育の一環で、農業体験の時間を設け、学ぶ機会を持つことができれば、農業についての理解や、課題を知る良い機会となり、農業をやってみたい、あるいは農業の技術開発に携わる仕事がしたいと思う人増えるかもしれません。改めて貴重なご意見ありがとうございます。

あわら市ではこの10年間に29の農家が新たに農業を始めております。一年の平均にすると、約3つの農家となります。これが多いか少ないかといわれれば決して多くはありません。なぜなら、平成22年から見ると、一年の平均では50ずつ農家の数が減っているからです。しかし、今後も農業をされる方を少しずつでも増やし、また、農業に関する技術開発や効率化を進めなければ、将来の農業が立ち行かなくなります。そのためにも新たに農業を始められる方はもちろん、現在農業に従事されている方々に対して、農業機械を購入するための費用を補助したり、農作

業の技術をサポートしたり、経営が安定するための相談や助言を県やJA、また様々な関係団体と一緒に続けていきたいと考えております。また、今回提案いただいた農業の体験教育についても、将来農業に従事する方を一人でも増やすために重要なことでございます。あわら市には、県立大学創造農学科のキャンパスがあります。大学や地元農業者と連携した農業体験学習など、教育部門と協議をし、検討を深めてまいりたいと考えております。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 1番、藤永綺羅君。

○1番（藤永綺羅君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

#### ◇吉川翔君

○中学生議長（松儀晃雅君） 続きまして、通告に従い、2番、吉川翔君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 2番、吉川翔君。

○2番（吉川翔君） 芦原中学校3年吉川翔です。

あわら市の道路について質問します。

私はよくランニングをするのですが、あわら市の歩道は整備されておらず、ガタガタになっているところが多いと感じます。例えば、芦原中学校に登校するための道路は、ガタガタになっていて歩きづらく、通学の際に足に負担がかかります。ほかにも高橋尚文堂の前の道もガタガタしています。R6年度のあわら市の「道路は効率的・効果的に整備されているか」というアンケートでは59%の人が効率的・効果的に整備されていないと答えています。そこで、あわら市の通学路になる歩道や道路を整備していただけないでしょうか。最近は、徒步や自転車を交通手段とする高齢者も多いと思います。歩道や道路を整備することで生活しやすくなると思います。市のお考えをお聞かせください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） 普段の生活で築かれた素晴らしいご質問をありがとうございます。道路や歩道の整備や市民の安全で快適な生活にとってとても大切なことと考えております。歩道や車道がガタガタしている原因としては、舗装の経年劣化や街路樹の根によって舗装が押し上げられることによる段差の発生が考えられます。本市では、令和4年度からまつや千千から坂井市三国町へ向かう歩道において、自転車や歩行者が転倒する危険性がある舗装の段差解消や、段差の原因となる街路樹の撤

去を進めており、来年度には完了する予定です。また通常のパトロールに加え、市民の皆様から電話やメールでいただいた情報をもとに現地確認を行い、湯の花公園西側の歩道やあわら湯のまち駅西側の駐輪場付近などで根上りによる段差の補修を行っております。ご質問にあった芦原中学校への歩道についても、全面補修は難しいですが、部分的な補修でしっかりと対応してまいりたいと考えております。さらに、議員ご指摘の区域を含む、芦原こども園からあわら湯のまち駅までの区間においても、歩道の段差解消と街路樹の設置間隔の見直し等による安全で快適な歩行空間の整備になるべく早く取り組む予定です。市教育委員会においても、学校や警察、PTAなど各関係団体と連携し、毎年通学路の危険箇所の点検を実施しております。その結果を踏まえた通学路交通安全プログラムに基づき、芦原こども園からあわら湯のまち駅に向かう歩道の転落防止柵の更新や、布目区から西温泉区に向かう歩行者通行部の幅を広げるグリーンベルトの設置など安全確保に向けた取り組みを進めています。今後も市民の皆様に道路が効率的で効果的に整備されていると感じていただけるよう、国の補助金などを活用しながら、計画的に道路整備を進め、安全安心で生活のしやすい道路環境作りに取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願ひいたします。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 2番、吉川翔君。

○2番（吉川翔君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

#### ◇渡邊瑛紀君

○中学生議長（松儀晃雅君） 続きまして、通告に従い、3番、渡邊瑛紀君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 3番、渡邊瑛紀君。

○3番（渡邊瑛紀君） 金津中学校3年渡邊瑛紀です。

あわら市の音楽ホールについて質問します。

現在、あわら市にコンサートに使えるホールは中央公民館しかありません。しかし、ホールとしては、設備的に不十分な点もあります。また、他の地域にはハートピア春江やみくに未来ホールなどがあります。そこで私は、あわら市に音楽ホールを建てる 것을提案します。具体的には、みくに未来ホールと同じように300人以上が入り、地域の吹奏楽部や音楽クラブが気軽に使えるホールがよいと考えています。市のご意見をお聞かせください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） 文化施設の充実に向けた思いが伝わるご質問ありがとうございます。それではあわら市の音楽ホールについてお答えをいたします。本市には音楽コンサートが開催できる文化会館がありましたが、昭和45年の開館から45年以上が経過し老朽化が激しく、耐震上問題が、平成27年に判明しております。耐震上問題があることが平成27年に判明しておりました。一方、北陸新幹線芦原温泉駅開業を控えた令和元年度に芦原温泉駅前の整備を検討する過程で、地元住民や観光客が集い、文化ホール的な機能を持った交流拠点が必要との結論に至りました。その結果、生まれたのが現在のアフレアです。アフレアは駅前にあり、交通アクセスが良く、舞台設備や音響設備もしっかりとしており、200人以上の観客を収容でき、気軽にイベントや小さなコンサートなどを開催することができます。市といたしましては、アフレアが文化会館の代替を果たす施設と考えているため、今のところ、300人以上入る新たな文化ホールを建設する考えは考えておりません。その他にも、中央公民館に加え、金津創作の森美術館ミュージアム1および2、さらには温泉旅館のホールなどを活用することができます。これらの施設には、それぞれにしかない魅力があります。金津創作の森美術館は三国未来ホールと同程度の観客収容が可能で、自然とアートに囲まれた特別な空間です。音楽と芸術を融合させたイベントにも最適で、森をバックに音楽を奏でるという他にはない体験ができます。そして、温泉旅館は、旅館ならではの落ち着いた雰囲気とおもてなしの魅力です。先月末には、グランディア芳泉のグランディアホールにおいて、音楽や踊りなど県内からえりすぐりの芸能を披露する発表会が行われ、多くの方が集まり、大変好評ございました。温泉地ならではのおもてなし感の中で音楽を楽しめるのはあわら市ならではの強みではないかと思います。なお中央公民館につきましても、少しでも快適に使っていただけるよう、改善を進めています。具体的には音響環境を良くするためのスピーカーの入れ替えや、座りやすさを考えた椅子の更新を検討しており、今後市民の皆さんができるだけ演奏や鑑賞を楽しめる環境を整えていきたいと考えております。音楽は人と人を繋ぎ心を豊かにし、地域を元気にする力があります。市といたしましても、今ある施設の魅力を生かし、文化や音楽を気軽に楽しめる環境作りにこれからもしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○中学生議長（松儀晃雅君） 3番、渡邊瑛紀君。

○3番（渡邊瑛紀君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

◇山川実央君

○中学生議長（松儀晃雅君） 続きまして、通告に従い、4番、山川実央君の質問を許可します。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○中学生議長（松儀晃雅君） 4番、山川実央君。

○4番（山川実央君） 芦原中学校3年山川実央です。

家庭科室と技術室のエアコン設置について質問いたします。

坂井市の中学校には調理室と技術室にエアコンが設置されています。しかし、金津中学校には調理室のみ設置され、芦原中学校にはどちらも設置されていません。

そのため、授業を受ける際に暑くて集中できなかったり、調理実習や木工作業などでは熱中症の危険を感じたりします。

また、エアコンのある特別教室に移動して、調理実習や製作活動はできず、学習面での問題も生じます。暑さ対策で扇風機が置かれましたが、涼しい風が出るわけではないので、あまり変わらないと思います。そして、令和8年度から体育館の空調設備が整備されるということですが、それと同様に、家庭科室と技術室にも早急にエアコンの設置をすることを提案します。市のお考えをお聞かせください。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○中学生議長（松儀晃雅君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） 学校の教育環境改善のための重要なご提案ありがとうございます。中学校の家庭科室と技術室へのエアコン設置についてお答えいたします。近年は、日中の気温は 30°Cを超える真夏日が当たり前のように発生し、さらに気温 35 度を超える猛暑日となることも珍しくないなどこれまでの常識とは異なる暑い日が増えてきており、さらにその期間も長くなってきていると感じております。このような時期にエアコンがない場所で事業を行うことによって様々な支障が出ていることを市としても認識しております。そこで、市では、学校の先生方と相談しながら、まずは授業などへの影響の大きい優先度の高い場所として、二つの場所にエアコンを整備することとしました。1ヶ所目は体育の授業や部活動などでも頻繁に使用される中学校の体育館です。どちらの中学校も現在整備中で、今年の夏には間に合いませんでしたが、来年からは利用できる予定です。2ヶ所目は、実験や観察など授業で年間を通して使用する理科室です。ただし、中学校の理科室には既にエアコンが設置されていますので、七つの小学校の理科室に整備することとしました。しかしながら、山川議員のご質問にもありましたように、中学校の特別教室の他、小学校の特別教室と体育館などエアコンが未整備となっている場所が残っております。さらに最近は、6月および9月の時点で気温が高くなる日が多く、エアコンの必要な時期が長くなっています。このため、議員ご指摘の中学校の特別

教室を含めて、全ての学校のエアコンについて利用頻度などを考慮しながら、必要な場所に計画的に整備する必要があると考えております。今後は、どの場所から優先して整備を進めるべきかを先生方を交えて検討していきます。児童生徒の皆さんのが気持ちよく授業に集中できるように、エアコンの設置を含めた学校施設の環境整備を進めていきたいと考えております。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 4番、山川実央君。

○4番（山川実央君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

#### ◇牧田樹季君

○中学生議長（松儀晃雅君） 続きまして、通告に従い、5番、牧田樹季君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 5番、牧田樹季君。

○5番（牧田樹季君） 金津中学校3年牧田樹季です。

あわら市の自然について質問します。

北潟湖自然再生協議会の資料によると、2010年から2015年にかけて、塩分濃度の上昇などにより、北潟湖内に生息していた魚類の多くが淡水魚から回遊魚に変わっていることが分かりました。

そこで私は、湖内の生態系を安定させるために、水門で塩分濃度を調節することを提案します。汽水湖である特徴を生かして淡水魚と回遊魚が共存し合う環境になるよう、放流や養殖を行うのはどうでしょうか。

市のご感想をお聞かせください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森之嗣君） 北潟湖の生態系に興味を持ち、ご提案いただきました。ありがとうございます。初めに、湖内の生態系を安定するために、水門で塩分濃度を調整することへの提案についてお答えをいたします。北潟湖は海に面しているため、開田橋に水門が設置されております。この水門は、今から109年前の大正5年に潮留水門として、治水による市民の生活を守るために設置されました。現在、海平面と湖水面の水位差が1センチになると、自動で開閉が行われるよう管理されており、このときに湖内の水が入れ替わり、海水が流入することとなります。北潟湖自然再生協議会では、塩分濃度の変化が生態系に与える影響を調査した上で、水門管理をどのようにしていくのがよいのか、関係者で検討しております。今回提案いただきま

した水門で塩分濃度を調整する管理方法は現在も行っておりますが、生態系の保全のため、今後も継続して適切な方法を検討していく必要があると考えております。次に汽水湖の特徴を生かし、淡水魚と回遊魚が共存し合う環境になるよう放流や養殖を行ってはどうかとのご質問にお答えいたします。現在の北潟湖開田橋の水門の開閉状況は春から初秋にかけて海面が高い状態が続くため、水門の開いている時間が短くなります。一方、晚秋から初春にかけては海面が低い状態が多いため、開田橋の水門が開いている時間が長くなります。こうした開門のタイミングで回遊魚が湖内に入ってきており、淡水魚とかいう回遊魚はある程度共存できていると思いますが現状、塩分濃度は若干低くなっているため、淡水魚の生息環境が以前より拡大している状態です。そこで回遊魚の稚魚が流入しやすい環境を整え、湖内の生物多様性を向上させるため、水門管理を来年1センチから2センチに変更するための準備をしているところです。また放流や養殖を行ってはどうかとのご質問につきましては、歴史を紐解きますと、江戸時代中期には北潟湖にカキ塚が多く分布しており、昭和橋あたりまでかきの養殖が行われておりました。その後は湖畔の開拓が積極的に進められ、潮留を目的に水門が設置された経緯がございます。現在では、魚などの養殖は行っておりませんが、稚魚の放流は行っております。これは北潟湖を利用し、漁業を行うために必要な水産資源を保護するため、漁業権を持つ業種の放流が義務付けされていることによるものです。今年度は北潟漁業協同組合がワカサギ・ウナギ・フナの放流を予定しています。ウナギは回遊魚でワカサギ・フナは淡水魚であり、バランスのとれた放流を行っております。今後とも、北潟湖自然再生協議会において、湖を利用している人、湖の生態系を守る人、周辺に住んでいる人の考えをよくお聞きし、どのような北潟湖にしていくのかを十分に議論し、塩分濃度についても調査分析をさらに進めていくことで、多様な生き物が生息する美しく自然豊かな北潟湖を目指してまいりたいと考えております。これからも北潟湖への関心を持ち続けていただき、あわら市が誇る美しく自然豊かな北潟湖を未来へ繋ぐため、一緒に考えていきましょう。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 5番、牧田樹季君。

○5番（牧田樹季君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

### ◇三上寧々君

○中学生議長（松儀晃雅君） 続きまして、通告に従い、6番、三上寧々君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 6番、三上寧々君。

○6番（三上寧々君） 芦原中学校3年三上寧々です。

あわら市のファストフード店の誘致について質問します。あわら市には、学生や高齢者が気軽に立ち寄ることのできるファストフード店が少ないと感じます。そこで、空き地や空き家を活用して、ミスター・ドーナツやマクドナルドのファストフード店を誘致することを提案します。現在、あわら市は芦原小学校付近をはじめ、空き家が増加傾向にあります。そこで、その空き家や空き地を利用すれば、空き家対策にもつながると思います。

さらにチェーン店は全国展開されているため、よく知るお店であれば、身近に気軽に立ち寄ることができます。

のことから、空き家や空き地を利用したファストフード店の誘致について提案します。市の考えをお聞かせください。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○中学生議長（松儀晃雅君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） この度は、ファストフード店の誘致に関するご提案をいただき、誠にありがとうございます。地域の将来を見据えた前向きなアイディアをいただけたことに心から感謝をいたしたいと思います。議員ご指摘の通り、学生や高齢者が気軽に立ち寄れる場所の確保は、地域の賑わい作りの面からも非常に意義深いものだと考えております。全国展開されているファストフード店は、親しみやすく、地域の魅力を高める可能性が大きいにあります。ただし、ファストフード店を誘致するには、交通アクセスや周辺環境、採算性など様々な条件を満たす必要があります。通常は、事業者側がその場所で商売を行えば、建設費などの投資を回収し、さらに利益を生むとの判断があつて初めて店舗が進出してきます。これまでの誘致活動において、多くの民間事業者からお聞きした分析では、あわら市周辺は買い物人口の不足などを理由に、初期投資である建設費や店舗運営していくためのランニング費用を回収することが難しく、出店は困難であるとの評価を受けております。また、空き家や空き地を活用して、ファストフード店を誘致しようとしても、敷地面積が狭いため、駐車場の確保が困難です。仮に、敷地が広くても、駅や公共施設など、集客が見込める立地にないということもあり、全国企業であるファストフード店を誘致するのは、難しいのが現状でございます。そこで、市では芦原温泉駅前の広場とキューブの活用について民間事業者が持続可能な店舗運営ができるよう、建設費など最初にかかる費用の補助に加え、運営面に対しても支援策を用意した上で、ファストフード店に限らず、広く民間事業者の出店を募集し、市民へのサービス向上や賑わいの創出に向けた取り組みを進めており、結果は今年中に出る予定です。こう

した取り組みを活用し、三上議員の切実な提案にお応えできるよう、精いっぱい誘致活動を頑張ってまいります。今後とも、地域の皆様からの声を大切にしながら、誰もが暮らしやすいあわら市の実現に向けて取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 6番、三上寧々君。

○6番（三上寧々君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

#### ◇石川弥麻斗君

○中学生議長（松儀晃雅君） 続きまして、通告に従い、7番、石川弥麻斗君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 7番、石川弥麻斗君。

○7番（石川弥麻斗君） 金津中学校3年石川弥麻斗です。

あわら市ホームページの特産品紹介について質問します。

ホームページの特産品のところを見てみると、芦原温泉や松の露は、比較的新しくなっており詳しい記載がされていますが、他の特産品のページが13個のうち11個が2008年で更新が止まっており、中にはあまり詳しい情報が記載されていないものもあります。

そこで私は、特産品のページの大半を更新することを提案します。

具体的には、売っている場所を詳しく記載したり、情報が薄い商品のページを改善したり、その店舗や会社のURLを貼ったりすることなどが考えられます。あわら市の情報を充実させ、より豊かな町にしたいと思いました。

市のご意見をお聞かせください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） ご質問ありがとうございます。あわら市のホームページに掲載されている特産品情報についてしっかりと調査を行った上で、最新情報への更新や内容の充実を図るべきとの御指摘をいただきました。ご指摘をいただき本当にありがとうございます。恥ずかしながら、現在のホームページの内容は十分とは言えず、深く反省しております。いただいたご意見を大切に受け止め、できるだけ早くホームページの内容を見直し、よりわかりやすく充実したものにしていきたいと思っております。更新の方法につきましては、次のように考えております。現在あわら市の特産品やお土産に関する詳しい情報は、あわら市観光協会のホームページにて写

真や販売場所、事業者の情報など、より充実した内容で紹介されており、随時更新されております。そのため、まずは観光協会ホームページへのリンクをわかりやすく設けることを行いたいと思います。また、市のホームページにおいて、情報が十分でない特産品については、観光協会や事業者の皆様と相談しながら、内容の見直しや新しい特産品の追加についても検討してまいります。応急的な修正は今年中に行うこととし、さらに時間をかけて情報の充実を図ってまいります。若い世代からのご意見は非常に心強く、あわら市の魅力をより多くの方に知っていただくために、しっかりと生かしてまいりたいと思っております。貴重なご提案ありがとうございました

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 7番、石川弥麻斗君。

○7番（石川弥麻斗君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

#### ◇増田埜々君

○中学生議長（松儀晃雅君） 続きまして、通告に従い、8番、増田埜々君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 8番、増田埜々君。

○8番（増田埜々君） 芦原中学校3年増田埜々です。

あわら市の街灯設置について質問をします。

駅前や金津方面には街灯がありますが、本荘や芦原、北潟では街灯が少ないと感じことがあります。特に、金津から旧芦原町にかけての道路に街灯が少ないと思います。例えば、本荘駅から東善寺地区（HITの資材センターへ向かう道）にかけては、5本ほどしか街灯がありません。また、木村病院前の道にもほとんど街灯がありません。この道は金津高校への通学路であり、車通りも多い主要道路となっています。ですが、暗い時間になると街灯が少ないと自転車がよく見えなかったりして、車側も自転車側もとても危険だと感じることが多いです。令和6年度のあわら市民アンケートの「道路は効率的・効果的に整備されていると思いますか」という問い合わせでは、市全体の平均では、肯定志向は34.5%、否定志向が59.0%となっています。本荘地区だけでみると、肯定志向は33.3%、否定志向は64.1%でした。ほかの地域でも金津方面は肯定志向が多い傾向なのに対し、芦原・北潟・本荘方面では、肯定志向が金津方面の半分ほどの割合しかいませんでした。

これらのこと踏まえて、私たちの安全や防犯対策を兼ねて、金津から旧芦原町にかけての主要道路に街灯を増設していただけないでしょうか。市の考え方をお聞か

せください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） 市の安全で安心なまち作りについて、貴重なご意見をいただきました。ありがとうございます。市に設置してある街灯の種類は、主に道路照明灯、防犯灯、街路灯の三つに分けられます。まず、道路照明灯は、道路の安全や円滑な交通を目的に、道路を管理している県や市などが、国が定める道路照明施設設置基準に基づき、視界の確保が困難で危険な交差点や道路が狭くなる橋などに設置をしております。次に、防犯灯は、夜間の歩行者の安全確保や地域の防犯を目的に、各区が集落内や集落間に設置をしております。最後に、街路灯は、観光客や買い物客の安全確保、賑わい創出を目的に、温泉街や商店街に設置されており、観光協会や地域が管理をしております。今回ご質問のありました、本庄駅から東善寺区にかけての県道と木村病院前の県道につきましては、道路照明施設設置基準を満たす危険な箇所には、既に道路照明灯が設置をされております。このため、暗さや防犯に関する不安を解消するためには、新たな防犯灯を設置する方法が考えられます。防犯灯につきましては、先ほども申し上げましたが、地域の実情を把握している各区が主体となって必要な場所に設置をしております。この各区の取り組みに対し、市は防犯灯を区内の道路に設置する場合は、設置経費の3割を区と区の間の道路に設置する場合は、設置経費の7割を補助することにより、防犯灯の増設の支援と促進を図っております。しかしながら、過去4年間、防犯灯設置に補助した件数46件のうち、区と区の間の道路への設置に補助をした数は5件と少ないとことから、今後、補助率の更なる引き上げなど各区への支援の強化を検討してまいりたいと考えております。皆さんからの声は、こうした取り組みを推進していく上で大切な指針となります。市といたしましては、皆さんの声もいただきながら、関係機関や各区と連携し、引き続き安全で安心なまち作りを推進してまいりたいと考えております。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 8番、増田埜々君。

○8番（増田埜々君） これで質問を終わります。ありがとうございます。

---

### ◇中嶋晴紺君

○中学生議長（松儀晃雅君） 続きまして、通告に従い、9番、中嶋晴紺君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 9番、中嶋晴紺君。

○9番（中嶋晴絆君） 金津中学校3年中嶋晴絆です。

自転車専用道路の設置について質問します。

福井県のホームページによると県内で交通事故が多いということが分かりました。令和6年度の人身事故件数は964件であり、その内、傷を負ってしまった人の数は軽傷者1100名、重傷者213名でした。

そこで私は人身事故を減らすために自転車専用道路の数を増やすことを提案します。車が多く通ったりするところに自転車専用道路を設けると車の運転手も自転車の運転手も安心して運転できるようになると考えます。また、自転車専用道路に不法に駐車する車がないように、ポール等の設置も必要になると考えます。

市のご意見をお聞かせください。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○中学生議長（松儀晃雅君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） 今日は暫時休憩を取らないみたいなんで私も頑張ってお答えしますけど、皆さんも頑張ってご質問ください。お願ひいたします。市民の安全に繋がるご質問ありがとうございます。交通安全は市にとってとても大切な課題でございます。ご指摘の通り、福井県内では交通事故が多く発生しており、特に自転車利用者の安全確保は重要なテーマです。議員ご提案の通り、自転車専用道路の設置は、歩行者、自転車、自動車の通行空間を分けることで事故を防ぎ、効果の高い取り組みですが、既存の道路に専用道路を新たに設けるには、用地の確保や多額の費用が必要となり、すぐに実現するのは難しいのが現状でございます。そのため市では、来年度、金津中学校周辺の道路に自転車の通行位置や進行方向を示す路面標示を設置する安全対策を予定しております。県でも、芦原温泉駅から金津高校の間の県道で同様の路面標示を行う予定です。その他、通学路や危険な場所には違法駐車を防ぐための標識やポール設置などの改善策を警察や学校、PTAと連携して検討してまいりたいと思います。さらに、市では、令和3年度から自転車活用推進計画を進めており、自転車を通勤や通学だけでなく、健康作りや観光にも活用し、カーボンニュートラルにも貢献することを目指しております。この計画の中で北潟湖を1周できるサイクリング専用道路であるハミングロードの整備や、自転車の安全確保策として、道の駅、温泉街、芦原温泉駅などの拠点を繋ぐネットワーク路線に青い矢羽根の路面標示を設置し、安全な走行環境の整備に努めています。その他、交通安全教室や高齢者への自転車講習会の開催など、正しいルールやマナーを広める啓発活動にも力を入れております。今後も、事故ゼロを目指し、国や県、地域と協力しながら、交通安全対策に努めてまいりたいと考えております。

（「議長」と呼ぶ者あり）

- 中学生議長（松儀晃雅君） 9番、中嶋晴絆君。
- 9番（中嶋晴絆君） これで質問を終わります。ありがとうございました。
- 中学生議長（松儀晃雅君） ここで暫時休憩をします。再開は午後2時30分とします。  
(午後2時20分)

---

(午後2時30分)

◇坪田治己君

- 中学生議長（松儀晃雅君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。通告に従い、10番、坪田治己君の質問を許可します。

（「議長」と呼ぶ者あり）

- 中学生議長（松儀晃雅君） 10番、坪田治己君。

- 10番（坪田治己君） 芦原中学校3年坪田治己です。

北潟湖の水質改善について質問をします。

僕は北潟に住んでいて、北潟湖でカヌーをよくするのですが、北潟湖がとても汚く臭いと感じます。僕の祖父の話によると、60年から70年くらい前は、北潟湖の水は透き通るほどきれいで、北潟湖で泳いでいる人もいたと聞いています。

もし北潟湖の水質が改善されて、60年70年前の姿に戻ったとしたら、あわら市は北潟湖をより有効的に使えると思います。例えば、「泳げる湖」と夏にPRすることができ、観光客が増えると思います。観光客が集客できることによって、地域の活性化、経済が回ると僕は考えます。

ぜひ北潟湖の水質の改善について前向きに検討していただけないでしょうか。市の考え方をお聞かせください。

（「議長」と呼ぶ者あり）

- 中学生議長（松儀晃雅君） 市長、森之嗣君。

- 市長（森之嗣君） 北潟湖の水質改善に興味を持っていただきありがとうございます。

北潟湖の水質改善を前向きに検討してほしいとのご質問にお答えをいたします。議員ご指摘の通り、北潟湖の水質に関しましては、昭和30年から40年代ごろまでは、夏になるとよく泳いでいたとのお話を聞きしますので、今とは違った水環境であったと思います。あわら市では、こうした状況を踏まえ、湖の水質を改善するため、下水道の整備、湖底の浚渫、護岸の整備などに取り組んでまいりました。また住民が参加しての湖岸の清掃活動、漁業者による外来魚の駆除など、様々な取り組みも行われるようになりましたが、まだまだ一昔前のような水質に戻ったとは言えない状況です。このような中、平成25年に地元の環境保全団体や漁業者、研究者、県、

市が集まり、北潟湖自然再生連絡会を設置し、北潟湖の自然を取り戻すための調査や検討を始め、その後、平成30年には自然再生推進法に基づく北潟湖自然再生協議会を設置し、これまでの取り組みを本格的に実行に移すこととしました。この協議会では、様々な立場の団体、個人、行政機関に参加していただき、北潟湖を取り巻く地域的な課題などを共通の場で議論し、事業を通じてよりよい方向を探しております。北潟湖は周辺の山や川から窒素やリンなどの豊富な栄養物質が流れ込みやすい地形となっております。これらの栄養物質は、生態系の維持に重要な要素ですが、北潟湖のような閉鎖的な環境においては、富栄養化により、植物プランクトンや藻類が増え、浮遊物質となったり、沈殿することで水が濁る主な原因となっております。ただし、この状態は北潟湖に生息する生き物にとって必ずしも悪い環境ではなく、逆に豊富な栄養物質は生き物の繁栄にとってよい環境にもなっております。北潟湖の水をろ過すれば、見た目は綺麗になりますが同時にプランクトンなどの栄養物質も減少してしまいます。透き通ることが必ずしも良いのではなく、ある程度の濁りがあるとしても、生物にとっては良い環境であることもあるため、生態系を守りながら水質浄化を行うことが重要と考えます。北潟湖の水質浄化には大変な労力と長い年月が必要となります。今後とも北潟湖自然再生協議会の活動を推進していくたいと考えておりますので、活動に参加いただきなど、一緒に北潟湖の未来について考えていきましょう。 お願ひいたします。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 10番、坪田治己君。

○10番（坪田治己君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

#### ◇橋本昊侑君

○中学生議長（松儀晃雅君） 続きまして、通告に従い、11番、橋本昊侑君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 11番、橋本昊侑君。

○11番（橋本昊侑君） 金津中学校3年橋本昊侑です。

あわら市の観光について質問します。

あわら市の観光客は増加傾向にありますが、コロナ前と比較するとまだ少ないです。そこであわら市に2つのことを提案します。

1つ目は、あわら市の食べ物を使ったスイーツを開発し、そのPRに力を入れることです。理由は、あわら市に住んでいる人でもあわらの有名な食べ物を知らない人が多いからです。

2つ目は、金津インターチェンジの近くに宣伝用の看板等を設置することです。理由は、福井県に観光する人の交通手段を調べたところ、自家用車が1番多く全体の7割が高速道路を利用していることが分かったからです。具体的には、インターチェンジの分岐点の近くに看板を設置してどの方向から来ても目に留まるようにしたいと考えました。そして看板を見た人が観光地に来てくれるといいと思います。

市のご意見をお聞かせください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 市長、森之嗣君。

○市長（森之嗣君） 市の観光施策へのご提案いただきましてありがとうございます。初めに、あわら市の食べ物を使ったスイーツの開発と、そのPRに関する提案についてお答えをいたします。市内の特産品を使用したスイーツ開発については、先日の16日、17日に芦原温泉で開催された竜王戦において、両棋士に提供するための勝負おやつについて、市内事業者が新たに商品開発を行っております。スイートポテトやティラミス、ブッセ、ケーキなどに市内の特産品として富津金時が使用されており、他には芦原産の蕎麦粉を使用したクッキーのサンドなど10の商品が新たに開発されております。また、勝負おやつについては、勝負飯、勝負ドリンクと合わせて市としても新たな商品をPRする絶好の機会であると認識しております。そこで、紹介用のメニュー帳を作成し、市長記者会見で、テレビ局や新聞社のメディア向けに発表するとともに、市のホームページや公式SNS、広報誌など市外の方や市民の方へ広く情報発信を行っております。またこの他に、市では特産品を活用したスイーツの商品開発に対し、補助制度を設けて応援しております。これを受けて、紫芋を使ったパイ、富津金時を使ったバタージャムなど多くのスイーツが生まれています。今申し上げた勝負おやつなどのスイーツは、市内の店頭に並んでおりますので、議員も興味のあるスイーツを召し上がっていただき、口コミでその良さを広めていただきますよう、ご協力をよろしくお願ひいたします。次に、金津インターチェンジ近くにおける宣伝用看板等の設置に関する提案についてお答えをいたします。高速道路を利用し、金津インターチェンジで降りられ、あわら市内に観光に来られた観光客に対しましては、まずインターチェンジを降りたところのT字路に芦原温泉の表記がある道路標識に加えこのインターチェンジから近い観光スポットである、金津創作の森美術館と刈安山森林自然公園の方向と距離を表記している案内看板が設置しております。市内には、先ほど申し上げた観光スポットに加え、道の駅蓮如の里あわらや吉崎御坊跡がある吉崎エリア、北潟湖畔花菖蒲園や北潟湖畔公園がある北潟エリア、さらにはアフレアや本陣飾り物の展示がある、金津エリアといった魅力ある観光スポットがあわら市内には多く点在しております。こういった

観光スポットを観光客が視覚的に認識いただける案内看板は有効であります。現在の看板が数として十分か、見やすいものであるか、カーナビが普及している中で、看板を設置しすぎて景観を阻害していないかなど、いろいろな観点から今後検討を行ってまいりたいと考えております。これにより、車で来られた多くの観光客が快適に市内観光スポットを回れるように努めてまいりたいと考えておるところでございます。ありがとうございました。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 11番、橋本昊侑君。

○11番（橋本昊侑君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

#### ◇小西遼真君

○中学生議長（松儀晃雅君） 続きまして、通告に従い、12番、小西遼真君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 12番、小西遼真君。

○12番（小西遼真君） 芦原中学校3年小西遼真です。

あわら市のサギ対策について質問します。

私が住んでいる新郷地区北本堂の神社の木には、数羽のサギが住んでいます。以前から、近所の住民から「毎日鳴き声がうるさい」という声が上がっているのを知っています。そして、春から夏の繁殖期に入ると、さらに鳴き声はいつもよりも増して、うるさくなります。特に夜遅くや明け方には、悲鳴のような鳴き声が聞こえて、私は飛び起きました。

このことから、サギは人の生活に支障をきたす存在であると言えます。あわら市でも何か対策をしていただけないでしょうか。具体的には、防鳥機器の設置や、巣の取り扱いを行い、その後も経過観察してほしいと思っています。

市のお考えをお聞かせください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） 身近な生活環境についてのご質問いただき、ありがとうございます。サギは、人の生活に支障をきたす存在であり、市として何か対策をとの質問にお答えをいたします。議員ご指摘の通り、サギは、春から夏にかけて繁殖期となるため、鳴き声が激しくなり、夜間や早朝には生活に支障をきたすほどの騒音となる場合があります。しかしながら、サギは鳥獣の保護および管理並びに狩猟の適正化に関する法律、いわゆる鳥獣保護管理法により保護される野生動物となり、慎重

な対応が求められます。巣が作られ、卵が抱かれるようになると、親鳥は巣を離れなくなるため、巣を作る場所を移動させることは極めて困難になる他、卵やひながいる巣を取り除くことは、鳥獣保護管理法で禁止されております。なお、公園や街路樹など公共施設における対策は市で行いますが、ご質問の場所は神社ということで、個人や区などの土地、建物については、原則、それぞれの所有者で対応していただることとなります。このことを踏まえ、できる対策としては、まず巣を作り始めていることが確認された場合、卵を産む前に早期に追い払うことです。さらに、再度巣を作らないよう、樹木の枝や葉を切り落とす方法や、防鳥ネットを設置する方法、爆竹や目玉風船などを用いた音や視覚での追い払いを行う方法があります。もし巣が作られ、卵を産んでしまった場合は、鳥獣保護の観点からひなが巣立つまで待つ必要があります。その後、巣立った後の巣を取り除き、先ほど申し上げました対策を行うこととなります。本市といたしましては、自然環境の保全や野生動物との共生は重要な課題であると考えております。また、卵やひなはいるのか、どのような対策が効果的なのかななど現地確認や助言などの対応は可能ですので、その都度ご相談いただけたらと思います。市民の皆様の安心安全な暮らしを守ることと併せて、自然環境の保護も同時に大変重要なものです。今回の問題をきっかけに、本市の自然環境について考え、豊かな自然環境を守ると同時に、自分たちの暮らしを守るためには、どのような方法があるかなど、一緒に考えていきましょう。ありがとうございました。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 12番、小西遼真君。

○12番（小西遼真君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

#### ◇志田侑愛君

○中学生議長（松儀晃雅君） 続きまして、通告に従い、13番、志田侑愛君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 13番、志田侑愛君。

○13番（志田侑愛君） 金津中学校3年志田侑愛です。

あわら市の観光について質問します。

あわら市には昔「あわらぐるっとバス」というあわら市の北部を一律の金額で乗ることができる周遊バスが運行されていました。しかし、北陸新幹線が開通する前に廃止されてしまいました。

そこで私は、「あわらぐるっとバス」を再運行することを提案します。具体的には、

1年間で数回、ゴールデンウィークなどのたくさんの観光客が来る旅行シーズンのみに運行したいと考えています。そのバスがあることを知つてもらうために駅前に張り紙をしたり、QRコードを設置したりするとよいと思います。QRコードを読み取つたらあわらぐるっとバスの予約ができるようにし、観光客の人に手軽に利用してもらい、あわら市各地を巡つてもらえるといいと思います。

市のご意見をお聞かせください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） 観光客の交通利便性の向上についてご意見をいただき、ありがとうございます。あわらぐるっとバスは、令和元年8月から令和5年3月までの期間芦原温泉駅とあわら湯のまち駅を発着地点として、一律料金で、市内北部の観光スポットなどを巡ることができ、観光客や地域住民の交通利便性の向上を図るため、1日5便の運航をしておりました。しかし、ほどなくして、世の中がコロナ禍に見舞われ、1便当たりの乗車人数も長い間、1人から2人という状況が続き、バスの老朽化による修繕回数の増加も相まって、令和5年3月に運行を取りやめた経緯がございます。このバスに代わる2次交通の手段については、北陸新幹線の芦原温泉駅開業をにらんで、令和5年4月から一律料金500円から600円であわらぐるっとタクシーの運行を開始しました。このタクシーは芦原温泉を始め、市内29ヶ所の観光スポット間の移動が可能となっております。また、アプリによるチケット販売も行っており、使いやすいものとなっております。令和5年度は約5700人、令和6年度は北陸新幹線開業の年は約1万1400人と前年度より倍増しており、多くの方にご利用いただいております。ちなみに、ぐるっとバスはコロナ禍前の令和元年度の1年間で約500人の利用でしたので、ぐるっとタクシーがいかに利用されているかがお分かりいただけると思います。今後、このぐるっとタクシーについてさらに情報発信、PRに努め、あわら市内の観光振興を推進してまいりたいと考えております。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 13番、志田侑愛君。

○13番（志田侑愛君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

### ◇藤井美玖君

○中学生議長（松儀晃雅君） 続きまして、通告に従い、14番、藤井美玖君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 14番、藤井美玖君。

○14番（藤井美玖君） 芦原中学校3年藤井美玖です。

あわら市の観光地の活性化について質問をします。

2023年、吉崎には、蓮如の里という道の駅が出来上りました。連日、たくさんの観光客が訪れていることだと思います。しかし、街中からの距離は遠く、私たちにとっても観光客にとっても利便性の高い場所にあるとは言えません。温泉街や私が住む本荘地区には、道の駅はありません。街中に作ると、観光客がたくさん来て、楽しめると思います。芦原温泉に来た人が、地域のものを買ったり、食べたりできる施設があるといいと思います。例えば、本荘地区には、地域の人が作った野菜を売るエリアを設けたり、果物を食べることができるエリアを設けたりすると、地産地消のできる芦原の良さに気づき、また来たい、ここに住みたいと思う人が増えるかもしれません。また、子連れの人にも楽しめるスペースを作ることで、家族連れの観光客が来やすくなり、また来たいと思ってくれることも増えるはずです。

のことから、温泉街や本荘地区にも道の駅を作ることを提案します。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○中学生議長（松儀晃雅君） 市長、森 之嗣君。

○市長（森 之嗣君） 市の観光地の活性化についてご意見をいただき、ありがとうございます。令和5年4月に開業した道の駅蓮如の里あわらですが、令和5年は約35万人、令和6年は約39万人と、議員がおっしゃるように、多くの方にお越しをいただいております。先月9月13日には、利用者が100万人を突破いたしました。一方、市では来たい、住みたい、おすすめしたい世界に愛されるまち、“AWARA”を理念に観光まち作りを進めております。この理念の達成に向け、まずはあわら市をトップブランドであるあわら温泉に更なる賑わいを創り出したいと考えております。9月6日からはあわら温泉湯のまち広場を中心に、「あわら湯のまちみらいプロジェクト」として、飲食業の出店や、ライトアップされた中のまち歩き、核となる情報発信拠点の設置などを行う社会実験を実施しております。10月8日には、極上の空間作りと質の高いサービスを提供することで知られ、全国的に多様なブランドの宿泊施設を展開する、「星野リゾート」があわら温泉への進出を表明いたしました。このような状況の中、あわら温泉エリアの更なる飛躍に向け、議員ご指摘の地域の特産品を買ったり食べたりできる施設の運営を行う民間事業者の誘致も検討したいと考えております。本荘地区においても、振興策を検討したいと思いますが、まずは市のトップブランドであるあわら温泉に注力したいと考えております。社会実験は11月9日まで行っていますので、議員もぜひあわら温泉街にお越しいただき、アンケートを実施しておりますので、お気づきの点などがありましたらご意見を伺いたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 14番、藤井美玖君。

○14番（藤井美玖君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

### ◇龍田月奈君

○中学生議長（松儀晃雅君） 続きまして、通告に従い、15番、龍田月奈君の質問を許可します。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 15番、龍田月奈君。

○15番（龍田月奈君） 金津中学校3年龍田月奈です。

あわら市的人口減少に対する取り組みについて質問します。

国勢調査と福井県統計年鑑によると、あわら市的人口は1995年の32,432人から2020年には27,271人まで減少しています。そこで私は人口を増やすためにあわら市の移住しやすい環境整備を提案します。

具体的に、1つ目は実際に農業体験などができる家にホームステイし、あわら市の良さを知ってもらうこと。

2つ目としては、移住者に対する住まい、就職先、補助金の支援です。住まいに関しては空き家バンクに登録されている空き家を活用したいと考えています。しかし、あわら市の空き家の件数が659件なのに対し、空き家バンクに登録されている空き家は42件で全体の約6.1%しか登録されていません。そこで各地区の掲示板や回覧板に空き家バンクへの登録を進めるチラシを掲示して情報を提示し、空き家バンクの良さを伝えることで、空き家バンクに登録する物件が増え、使われていない空き家が減っていくと考えます。

この提案に対する市としての意見を聞かせてください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 市長、森之嗣君。

○市長（森之嗣君） 人口減少はあわら市を含め、地方の自治体にとってとっても大きな問題となっております。市も様々な施策を実施しております。具体的なご提案をいただき、ありがとうございます。まず一つ目の農業体験に関するご提案についてお答えをいたします。人口減少、少子高齢化が進む中、移住定住政策の重要性はますます高まってきております。あわら市の農業を生かした体験プランについては、移住者を呼び込むことを目的にお試し移住体験プログラムの一つとして、今年から新たに農業お仕事体験プランをスタートさせたところです。体験プランには、さつまいも、なし、大根などの収穫があります。9月19日から募集を開始し、現時点で

2名（10月16日現在）の方に体験をいただきました。また宿泊先については、市内の一戸建て民泊施設を利用してあります。龍田議員にご提案のホームステイは、一般家庭に滞在し、その家族の一員として生活をともにするのですが、市が実施する「お試し移住体験」としましては、実際に一戸建て住宅で生活していただき、あわら市でのリアルな暮らしぶりを体験していただきたいと思っております。農業体験のできる企画は、全国の移住を検討している皆さんに人気があります。市といたしましても、引き続き農業などを生かして取り組みを実施してまいりたいと思います。次に、二つ目のご提案についてお答えします。あわら市では、移住定住政策として、移住や結婚、それを機とした住まいの取得といった節目節目で、切れ目なく支援をしております。支援内容としては、移住促進支援金や奨学金返還支援事業補助金、空き家取得等支援補助金などがあります。空き家取得等支援補助金については、空き家情報バンクに登録された空き家を住居として購入、リフォームする費用を対象としています。龍田議員のご指摘の通り、空き家情報バンクへの登録件数は、市内の空き家の件数に比べ少ない状況です。空き家の所有者の中には、何から始めればよいのかわからないという方を始め、思い出がある家を手放せない、いつ住むかもしれないといった思いから、空き家を所持し続ける方が多くいます。こうしたことから、市では登録を促進するため、空き家情報バンク登録奨励金により、空き家情報バンクの登録者に対して、1物件2万円の支援を行っております。また、空き家情報バンクの存在を知ってもらうことが何よりも重要であり、広報誌やホームページ、リーフレット、空き家無料相談会の他、議員のご質問にあった通り、各区の回覧板などを用いて、情報提供や啓発活動を行っております。今後、これらの移住定住の促進施策をさらに強化しながら、様々な人口減少対策に取り組んでまいりたいと考えております。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○中学生議長（松儀晃雅君） 15番、龍田月奈君。

○15番（龍田月奈君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

#### ◇奥山咲耶君

○中学生議長（松儀晃雅君） 続きまして、通告に従い、16番、奥山咲耶君の質問を許可します。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○中学生議長（松儀晃雅君） 16番、奥山咲耶君。

○16番（奥山咲耶君） 芦原中学校3年奥山咲耶です。

あわら市の公園の遊具の減少について、質問します。

あわら市内の公園や学校の遊具が少なくなっていると思います。例えば、芦原小学校の大きな遊具や私の母校である北潟小学校の遊具も老朽化が原因で撤去されています。遊具の減少によって、子どもたちの遊ぶ場所も減ってきてているように感じます。少子高齢化の中、子どもの遊ぶところが少ないと、遊ぶ場所を求めて都会へ出て行ってしまうかもしれません。将来自分の子供が生まれたら、遊び場がたくさんある地域へ出していくかもしれません。子育てしやすい環境を作るためにも、小学校や公園に遊具を増やすという子育て支援が必要だと考えています。

9月10日の福井新聞では、あわら市の全天候型遊び場ができる記事を読みました。その具体的な内容につきましても、市の考え方をお聞かせください。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 市長、森之嗣君。

○市長（森之嗣君） 貴重なご意見をありがとうございます。遊具は、子供たちが体を動かし、友達と楽しく過ごすためにもとても有効な設備だと思っております。しかしながら、ご指摘の通り、最近は小学校で遊具が減っているケースがあります。これは毎年遊具の点検を行い、安全に使えるよう修繕を行っている一方で、老朽化などにより直せなくなったものや、安全基準の変更により、遊具を撤去せざるを得ない場合があるためです。小学校7校では、5年前に53基の遊具が設置されていましたが、現在は47基に減少しております。小学校の遊具は、遊びながら体力作りができるだけでなく、友達と順番を守って遊んだり、協力して使ったりすることで社会性を育むことができる、自分で遊び方を工夫することで、創造性を伸ばすなど学びにも繋がる大切なものです。子供たちの健やかな成長や地域の魅力向上のためにも、小学校の遊具の新設や充実を前向きに検討してまいります。また市が管理している公園は、30ヶ所で57基の遊具があります。これらの遊具については、毎年点検補修を行うとともに、令和2年度には、設置から長期間が経過し、補修は困難な17基の遊具を更新するなど、遊具数の維持と安全に利用できる環境の整備に努めています。福井新聞で紹介された子育て支援センター施設、全天候型遊び場については、おおむね3歳から10歳程度をターゲットにした屋内施設で、芦原こども園の入る建物の3階に整備し、令和9年3月の完成を予定しております。この遊び場は、デジタル遊具などの体験型遊具や、親子でゆっくり過ごせる空間を備え、天候に左右されずに、子供たちに心身の成長を促す機会を提供する施設となっております。今後も地域の皆様や学校のご意見を伺いながら、子供たちの安全と遊びやすい環境の整備に取り組み、子育て支援の充実を図ってまいりたいと考えておりますのでご理解を賜りたいと思います。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○中学生議長（松儀晃雅君） 16番、奥山咲耶君。

○16番（奥山咲耶君） これで質問を終わります。ありがとうございました。

---

#### ◎子ども議会閉会

○中学生議長（松儀晃雅君） 以上で本日の日程は全て終了いたしました。

中学生議員の皆さん、本日は大変お疲れ様でした。また、森市長におかれましては丁寧なご答弁ありがとうございました。最後に私達の補佐をしていただいた市議会議員の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。これをもって第2回あわら市中学生議会を閉会します。

○事務局長（東 俊行君） ご起立願います。一度ご着席ください。以上で、中学生議会の議事は全て終了いたしました。ここで、森市長よりご講評をいただきます。森市長、よろしくお願ひいたします。

---

#### ◎市長講評

○市長（森 之嗣君） 本日は皆さん、大変ご苦労様でございました。皆さん的一生懸命な姿と真剣な眼差しあわら市のこととも熱い心にとても感動いたしました。金津・芦原両中学校の代表として参加された16人の中学生議員の皆さん、本当にありがとうございました。そしてお疲れ様でございました。皆さんの発言には、あわら市をもっと良くしたいという強い思いが込められておりました。その姿勢は、まさに未来のリーダーそのものであると私は思っております。議場で堂々と意見を述べる皆さんの姿は、あわら市の未来に大きな希望を感じさせてくれました。あわら市は大丈夫だという気になりました。ありがとうございました。これから社会を動かしていくのは皆さん方です。今回の中学生議会を通じてふるさとあわらの魅力や課題に向き合い、自ら考え、自らの言葉で語り行動した経験は皆さん的人生において大きな力になると思います。皆さんがこれからもふるさとへの誇りを胸に、自らの手で未来を切り拓き、あわら市、福井県、そして日本を支える存在へと成長していくことを強く願っております。皆さんの可能性は無限であると思います。どうかその力を信じて挑戦を続けていただきたいと思います。最後に、この中学生議会の開催にご尽力いただきました。学校関係者、保護者、市議会の皆様に深く感謝を申し上げます。今後とも市政へのご支援とご協力をお願い申し上げまして、講評とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

---

◎閉会

○事務局長（東 俊行君） ありがとうございました。以上をもちまして第2回あわら市中学生議会を終了いたします。なお、この後記念撮影を行いますので、中学生議員の皆様、議員の皆様、また理事者側から森市長、前川副市長、甲斐教育長におかれましては、そのままお待ちいただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。準備が整うまで今しばらくお待ちください。ありがとうございました。お疲れ様でした。

（午後3時12分）

---